

環境負荷の少ない花き生産と 在来植物の保全・利用

安全農産物生産学コース

小笠原 宣好 准教授 OGASAWARA, Nobuyoshi



キーワード： 在来植物, 食用菊, LED

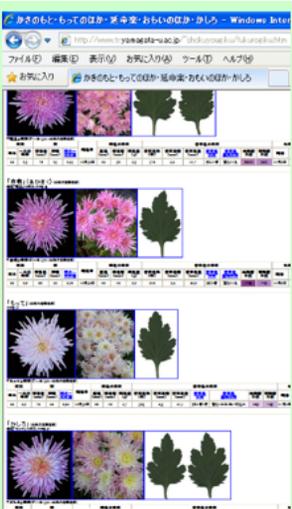
専門分野： 花卉園芸学

連絡先Email： nobuyosi@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

研究内容

私たちの生活にとって花は欠かせない存在となっていますが、切り花や鉢花の生産には照明や冷暖房、施設資材など多くのエネルギーを必要としています。将来にわたって美しい花を消費者に供給し続けるためには、花き生産における環境負荷をいかに減らすかが課題となっており、限られたエネルギーで効率よく花を咲かせるための研究を行っています。

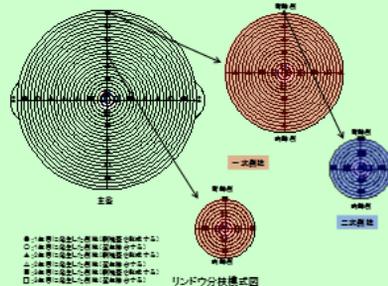
一方、日本各地にはその地方の気候風土に適した在来の植物があり、その価値が認められないまま埋もれてしまっている植物もたくさんあります。



食用菊データベース



LED光照射による
花きの開花調節



リンドウの成長解析



組織培養による増殖

研究室では、山形県や東北地方の在来植物を利活用するために、その特性の調査や分類・保存も行なっています。